



2017.3.21 第4号

春闘期学習会 を開催しました！

2017年3月10日（金）18：00～ 市民文化センター会議室1において、「春闘期学習会」と題し、「賃金」「超過勤務」について、松本青年女性部長から講演がありました。その中で「みんな日々生活の中でやりくりしているのが当たり前、ただ、私たち労働者が我慢をすることで得をするのはいったい誰なんだろう」と話され、改めて私たち労働者は「自分たちの労働力を安くみてはいけない」しっかりと青年女性部独自で譲れない要求を作り上げていこうと話がありました。

また超過勤務労働についても、「そもそも“命令”だということは知ってる？」と話しがあり、「自らが勝手に労働した場合、責任はだれがとるんだろう」と提起がありました。命令をもらいつらい環境は確かにあるかもしれませんが、「一人一人超過勤務命令もらう意識の向上が、後から来る仲間や後輩につながっていく」こととなります。

「自分だけが我慢すればいい」ではなく、その我慢の結果、多くの仲間が厳しい状況に追い込まれることがあるため、しっかりと命令をもらおうと話し講演は終了しました。

またその後の分散会では、自分の賃金実態、職場環境を話すことで、実態把握や共有につながりました。アンケートはこれから集約しますが、確定期の運動につなげていくためにも、運動を前進させていきましょう！

☆学習会・分散会の様子☆



講演の様子



分散会の様子



分散会の様子



分散会の様子



分散会の様子

この後にサンセットにて交流会を行いました！が、あまりにも楽しかったので、役員が写真を撮り忘れていました。次回は交流会も掲載します！

北部BL協議会赤旗学習会に参加しました！



3月8日（水）19：00から上川北部BL協議会が主催する「赤旗学習会」に士別市職労青年女性部の仲間7人で出席してきました。代表の市民班の「澤田 幸紘」さんのあいさつで始まり、講演は元自治労北海道本部青年部で部長を務めた名寄市職労の「牧野 長武（おさむ）」さんから「賃金と政治の話」として、講演がありました。

内容としては、

- ①扇子も扇がなければ風は起きない。労働組合にも加入しているだけでは何も変わらない。みんなで運動していこう。
- ②何のために働いているのだろうか。生きる為であれば、今の「働くために生きている（過労死等）社会」はおかしいと思う必要がある。
- ③使用者が、儲けを出すには「賃金削減」と「サービス残業」が労力を使わない簡単な方法であること。
- ④06年給与構造改革、14給与制度の総合的見直しで地方で働く公務員賃金がどんどん下げられている事。（昇給回数の削減や地方にはない手当の増額）
- ⑤私たちの労働条件の根幹を改善できるのは政治しかなく、政治闘争は「何か変わるのか」ではなく、「自分は何を変えていきたいのか」を意識する必要がある。

ことを話されました。私たち労働者は待っているだけでは、自らの労働環境、生活を変えていくことはできません。

皆で“団結”し、運動を前進させていきましょう。

ちょこっとMEMO

北部BL（ブロック）ってなんだろう？

正確に言うと、「自治労北海道上川地方本部青年部北部ブロック協議会」という名前になります。

上川地方本部は「北部」「中部」「南部」の3つに分かれており、そのうち士別市は「北部」に属しています。

協議会という体制をとっていますので、北部ブロックの全ての市町村（中川、音威子府、美深、名寄、下川、士別、剣淵、和寒）から幹事を出しており、代表者として上川地方本部で副部長をしている市民班の「澤田 幸紘」さん、幹事として、教育班の「安藤 龍司」さん、建設水道班の「佐藤 わかな」さんが月1回程度の会議で議論をしています。